



NTT労働組合退職者の会 高知県支部協議会

通信

2005年7月5日 第24号

NTT労働組合退職者の会
高知県支部協議会
会長 今井 智

退職者共済の 継続・加入促進 支部協費の納入 時期きたる!!

本年度の退職者共済の加入促進や継続の取り組みは、ほぼ例年通り七月二十日を締切りに取り組めます。近く「必要書類」大封筒をお届けしますので、内容をご確認のうえ、事務の円滑化に会員各位のご協力をお願いします。

共済内容に変更のない会員、支部協費のみの会員も、日付・サインを記入のうえ、一部（支部協用）を締切りまでに支部協まで返送下さい。

**資料発送日7月6日予定
共済申込書締切日7月20日**

現在私たちが利用している退職者共済は、退職者相互の助けあいの制度（共済）で、現職者の支援のもとに運営されています。今後この制度を安心して継続組合員（原則として

退職時に加入）は、制度が発足して初の一斉勧奨をむかえたことから、今年に限り一九九九年十月一日以降に退職した会員に「継続組合員」として加入していただくよう勧奨しますので、該当の会員の方々の加入をお願いします。尚、支部協会費・共済金引落しは、会員の皆様にお届けいただいている郵便局の口座から本年も八月十日に引落としとなりますので、預金残高不足で引落し不能とならないようご注意ください。

核廃絶を求める署名

一、二七六人分を政府・国連に！

高知県協分

全国の高齢者団体の活動として、去る二月から取り組んでいた「核廃絶を求める署名」に会員の積極的な協力のもとに高知県支部協の集約分、一、一七六人分を四月に全国集約されたものを含め、戦後六十年の節目に謝します。



退職者共済支払い状況

(二〇〇五年二月～二〇〇五年五月末日まで支払分)

お祝い

☆米寿(二件)
福島 重子 様
白川 晴子 様
☆喜寿(八件)
大井 和子 様
田城 茂代 様
近森三千代 様
田中 信男 様

宮川喜美枝 様
荻谷 馨 様
都築 義彦 様
伊藤 米喜 様

☆金婚(七件)
森 愛子 様
沖 富太郎 様
横田 茂 様
前田 二郎 様
野村ヒデ子 様

浜田 恭子 様
武田 勝定 様

お悔み

☆本人死亡(六件)
笹岡 澄子 様
田中 善喜 様
笠井 泉 様
古谷喜久子 様

任意脱会

坂本 信和 様

村上 憲一 様
中尾 文男 様

☆配偶者死亡(四件)

細川 安治 様
下村 静子 様
片岡三代恵 様
寺内 峯子 様

OB親睦旅行 快晴の空を一路 OKINAWAへ



四月十四日、快晴の空を一路沖縄へ。

終四十四名で元気に出発した。

初の飛行機利用の旅行のため、計画当初はどれくらい集まるか心配だったが、募集を始めてみるとアツという間に予定枠を超え、最終四十四名で元気に出発した。沖縄では、ひめゆりの塔へまず直行。ガイドの話に耳を傾け悲しかった当時を偲びつつ宿へ。その夜は恒例の親睦会。

賑やかに飲んで歌って騒いで、そして明日からの旅行に思いをはせながら眠りについた。

二日目は、名護パイン園「美ら海水族館」やんばる亜熱帯園をまわり昼食。ここで「焦げめし」を食わされたと思っていたら、後から聞くとなんとこれが名物だったとか。

昼からは「万座毛」の透き通った海や断崖絶壁の景勝地を見学。この日の最後の見学地「琉球村」へ。

ここでは一〇〇年以上前の民家や、のんびりと水牛が働く製糖工場を訪ねるとともに、丁度始まったところであった獅子舞やジュリ馬などの「琉球の息吹あふれる絵巻行列」を堪能した。夜は那覇随一の繁華街国際通りにあるレストランで夕食。肉料理等を上手にさばく「コックのパフォーマンス」にうっとりさせられながら食事。食後は、三々五々と街へと散らばった。

最終日は、お待ちかねの「首里城正殿」を中心に「北殿」「南殿」「守礼の門」などを散策。今回の旅行のすべてを終えて帰途に着いた。

三日とも晴天続き、病人もけが人もなく最高の親睦旅行であった。

宿毛地域で「総会」「さくらの宴」 開かれる!!

三月二十五日に開催された、宿毛地域の「総会」「さくらの宴」に、支部協から上田事務局次長が参加した。

名が参加をしており、地域活動の面でも「会」の存在を高めている。

宿毛地域の会員は五十三名で、少額の年会費ながら多くの活動実績を残しており、会に「四部会」をつくり、それぞれの部会で事業を計画し、年間合計で十二回以上の行事を行っている。

また、個人や、他団体で行っているボランティア活動に年間延人数で八〇〇余



この日はバッチシ満開の桜

高知、朝倉・旭 安芸・室戸 でも交流会

四月九日、恒例のブロック交流会

を兼ねた花見の会

が高知市朝倉の浄水場と旭の水源池山で同時に開かれた。今年には例年に比べ桜の開花が遅く、この日はバッチシ満開の桜

今年には例年に比べ桜の開花が遅く、この日はバッチシ満開の桜

投稿

戦争に参戦した日

大平 治 男

七夕様がやって来たが、私には昭和十二年七月七日の支那事変勃発を思い出す。続く昭和十六年十二月の大東亜戦争へと突入していった時代である。

昭和十九年七月に、中国の漢口飛行場へ向かう途中、列車が山海関を通過する時の事であった。右座席の同年兵が「万里の長城が見えるぞ」と叫んだ。次に左座席の戦友が「海が見えるぞ」と大声で叫んだ。皆一斉

この日が私の軍隊手帳に記入された大東亜戦争に参戦となった。旧満洲や朝鮮は当時は戦場に入っていなかった。

あれから幾度も生死の境をさまよったが、何とか生き残り、終戦からはや六十年、つくづく平和の有難さを感じる今日この頃である。

募集中

- ◎私の戦中、戦後
- ◎戦渦の中での電信電話
- ◎忌まわしい大戦から60年
- ◎平和憲法をめぐる葛すしい為政者の論議

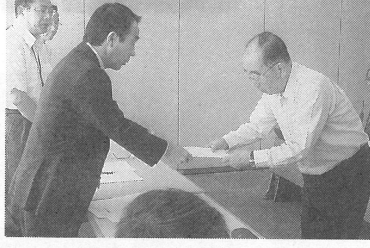
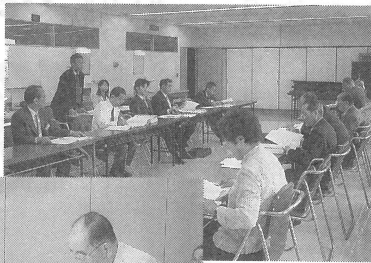
戦後生まれ時代の方々が次々と大量退職を迎える時期。会員の生死を超えた体験をお寄せ下さい。

送 付 先：〒780-0841 高知市帯屋町2-5-11
N T T 労組退職者の会高知県支部協議会
電 話 088-821-3800 (火・木曜の午後のみ)
F A X 088-873-3313 (24時間受信可)

原稿の字数：600字程度
原稿の発表：機関紙「通信」25号(2005年10月)、26号(2005年12月)発行の1カ月前までに郵送又はFAX送付願います。

NTT労組退職者の会が加入している連合高知傘下の高知県高齢・退職者団体連合(井澤幸男会長・五、二〇〇人)は、本年度も高知県知事および

めとして女性の年金権拡大、②国民年金未加入者対策、③高齢者医療の充実、④医療事故をなくす取り組み、⑤高齢者や障害者にやさしい道



高齢者が安心して、やさしい取り組みを求む

県高退連が対県交渉

高知県社会保険事務局局長に対し、高齢者の福祉に関する事項を「要求書」にまとめ提出し、会長以下幹事会メンバーで交渉を行った。

また、高知県社会保険局長に対する「高齢者の年金に関する要求書」に対し、六月一日に①老

五月二十六日に県知事交渉は①パートや派遣労働者をはじめ

被雇用者年金制度の一元化についてのビジョン、③年金資金の適確な運用などについて交渉し、いずれも国の制度にかかわる問題であるだけに、厚労省など関係機関への

上申を約束させた。

第7回

どうナッチュウが?



首相の靖国神社参拝問題がかまびすしい。参拝に反対する中国・韓国からの苦情を受けて議論百出。当の靖国神社も、近隣国への配慮を、と言ったと言わなかったとか。それはともかく、このことを世界はどう見ているのだろうか? 当たり前の苦情なのか、そうでないのか? 参拝する・しないは、本来この問題であるはずなのに、政治的なことばかりが先行しているような気がしてならない。さて、この問題どのように「適切に判断する」か? 英霊も、きつとあの世から注意して見ていることだろう。